

2008年4月7日

米国リンデンラボ社、セカンドライフの日本語対応を強化 ～登録情報の確認や変更、リンデンドルの取引記録確認などができる 「マイアカウント」ページを日本語表示に～

米国カリフォルニア州サンフランシスコ 2008年4月7日

3D仮想世界「セカンドライフ」を運営する米国リンデンラボ社(CEO:フィリップ・ローズデー
ル、本社:米国サンフランシスコ)は、日本市場向けにセカンドライフの日本語対応をより一層強
化し、2008年4月から「マイアカウント」ページを日本語でも参照できるようにした。

セカンドライフのウェブサイトには、利用者ごとに「マイアカウント」ページが用意されている。
利用者はここで連絡用のメールアドレスやパスワード、クレジットカード情報など、自らの登録情
報を確認でき、変更できるようになっている。また、リンデンラボから利用者への米ドルによる請
求記録やセカンドライフ内におけるリンデンドルの取引記録も参照できる。これまで「マイカウ
ント」ページは英語で表示されていたが、今回の日本語対応によって日本語での表示も可能と
なった。これによって、日本人のセカンドライフ利用者がログインから情報の確認や変更、リン
デンドルの取引記録確認など、自らの登録情報全てを母国語である日本語で管理することが
できるようになった。日本語版「マイアカウント」ページへは、セカンドライフの日本語版、及び英語
版ウェブサイトからログインすることができる。

米国リンデンラボ社の日本担当、土居純(どい・じゅん)は、「『マイアカウント』ページを日本語
化したことにより、日本でセカンドライフを利用してきた方々の利便性をより一層高めることが
できたと確信している。セカンドライフを体験したことのない方々にも日本語でより手軽にセカ
ンドライフを楽しんでもらえるよう、今後さらに日本語対応を進め、手を緩めることなく日本市場に向
けたサービスを強化していく」と話している。

詳細な情報はセカンドライフの日本語版ウェブサイト(<http://jp.secondlife.com/>)を参照。

セカンドライフとリンデンラボ社について

セカンドライフは 100 以上の国で利用者が急増している 3D オンライン仮想世界で、住人は自らが住宅、乗り物、オフィス、店舗、土地、服などの世界を創り出すことができます。セカンドライフ・グリッド(Grid)は米国リンデンラボ社が創り出した洗練された開発環境であり、米国リンデンラボ社は 3D 体験を共有することのできる革新的な環境を用意するため、1999 年にフィリップ・ローズデール(現 CEO)によって設立されました。ローズデールはリアルネットワークス社の元 CTO という経歴を持ち、リアルビデオなど今日の多くのストリーミングメディア技術を開発した先駆者です。2003 年 4 月、米国ロータス・ディベロップメント社の創設者でソフトウェアのパイオニアとして知られるミッチ・ケイパーが会長に就任しました。サンフランシスコを本拠とするリンデンラボ社は、物理シミュレーション、3D グラフィクス及びネットワーキング等の分野で、深い経験と知識を持つ専門のチームを擁しています。

詳細な情報はセカンドライフの英語版ウェブサイト(<http://secondlife.com/>)を参照。

Second Life® と Linden Lab® は Linden Research, Inc.の登録商標です。

お問い合わせ先

株式会社 井之上パブリックリレーションズ
〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-34 新宿御苑前アネックス 6 階
TEL: 03-5269-2301 FAX: 03-5269-2305
E-mail: secondlife.pr@inoue-pr.com
担当: 尾上(おのうえ)、大林
携帯: 080-1357-0993